

ファーストステージの研究活動における感染症対策及び参加同意書

ファーストステージで研究活動を行う際は、以下の感染予防策を実施し、感染拡大に最大限留意して活動しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。ご同意いただけましたら、以下の該当欄にご署名いただき、本同意書を参加時にご持参いただきますようお願いいたします。(参加当日、お子様にお預けいただければと思います。)

オンラインを活用した研究活動、打合せ等を最大限実施しつつ、本学の実験施設・設備を利用する場合や野外調査を行う際は、以下の感染予防策を実施し、感染拡大に最大限留意してファーストステージの研究活動を行う。

- ファーストステージ受講生、保護者、本学等の指導教員及び受講生が所属する小中学校等の担当教員の意向を確認し、同意を得た上で活動を実施する。

- ファーストステージ受講生は、活動日の出発前に発熱(※)、倦怠感、咳、息苦しさ、のどの痛み、頭痛、嗅覚・味覚異常の症状がないか確認する。上記症状のどれかひとつでも該当する場合は、以下の問い合わせ先及び指導教員へメール等により連絡し、その日の活動を中止する。
※発熱とは 37.5 度以上、または平熱より 1 度以上高い場合とします。

- ファーストステージ受講生は、万が一感染が発生した場合に備え、日々の行動履歴(時間帯、場所、同席者等)を記録する。(別紙 2 の健康観察・行動記録票を活用)

- 指導教員は、実験や調査活動を行う前に、受講生の体調不良の有無を確認する声かけを行うなど、健康観察を行う。

- 厚生労働省から公表されている「新しい生活様式」では、人との間隔はできるだけ 2メートル(最低 1メートル)空けることを推奨している。施設等の制約から 1メートルの距離を確保できない場合は、できるだけ距離をとり、換気を十分に行うことや、マスクを着用することなどを併せて行うことにより、「3つの密」を避けるよう努める。

- 移動時も含め常時マスクを着用し、咳エチケットを徹底する。ただし、気候の状況等により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外す。その際、換気、指導教員やティーチングアシスタント、受講生との間に十分な距離を保つなどの配慮をする。

【裏面につづく】

- 研究室等に入室する時、トレイ後、咳やくしゃみ、鼻をかんだ後、公共交通機関による移動の降車時、帰宅時など様々な機会において、こまめな手洗いを徹底する。なお、手指用の消毒液は流水での手洗いができない際に、補助的に用いるものであるため、基本的には流水と石けんでの手洗いをを行う。
- 研究室等の換気は、気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに2方向の窓を同時に開けて行う。エアコン使用時においても換気を行い、密閉空間にしない。
- 上記のほか本学が公表している「研究室内での活動における新型コロナウイルス感染症対策について」の留意事項を守り、研究活動を行う。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/news/57478>

■以上の内容を確認し、同意の上、参加します。

令和2年 月 日

受講者 氏名 _____

保護者 氏名 _____ 印

(※氏名のご記入は自署でお願いします)

【本件の問い合わせ先】

広島大学教育室教育部入試グループ

中村・林

Email:nyusi-kodai@office.hiroshima-u.ac.jp

TEL:082-424-6172